

令和元年度第6回

登別市教育委員会会議録

日 時 令和元年9月26日(木) 午後4時30分

場 所 登別市民会館 2F 小会議室

第6回 教育委員会議事日程

- 1 日 時 令和元年9月26日(木) 午後4時30分
- 2 場 所 登別市民会館 2F 小会議室
- 3 議 案 報告第3号 市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について
報告第4号 令和元年度第3回登別市議会定例会一般質問について

4 情報提供

- (1) 登別市学校適正配置に係る今後のスケジュールについて
- (2) 令和元年度登別市教育フォーラムの実施について

5 出席者

(教育委員会5名)

教 育 長	武 田 博	委 員	垣 内 登紀子
委 員	森 口 達	委 員	赤 井 秀 輝
委 員	堅 田 裕		

(事務局9名)

教育部長	堀井 貴之
教育部参与	中島 英治
教育部次長	近藤 正嗣
総務グループ建築主幹	逢坂 義人
学校教育グループ総括主幹	笠井 康之
学校教育グループ学務主幹	小野島 晶
社会教育グループ総括主幹	重山 大介
文化・文化財主幹	菅野 修広
図書館長	綿貫 亨

○**武田教育長** それでは、本日の委員会は、5名が出席されておりますので、有効に成立していることを報告いたします。これより令和元年度第6回教育委員会を開催します。本日の議事は、報告2件になります。それでは早速議事に入りたいと思います。報告第3号「市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について」事務局から説明をお願いいたします。

○**近藤教育部次長** 議案書の1ページをご覧ください。報告第3号は令和元年第3回登別市議会定例会の提出議案であります「令和元年度一般会計補正予算(第5号)」について、登別市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条の規定に基づき臨時代理を行いましたので、その内容を報告し承認を求めますのでございます。

別冊の「令和元年度登別市各会計補正予算書及び予算説明書一般会計第5号」という資料の4ページ、5ページをご覧ください。

こちらに記載されております「幼児教育と小学校教育の接続の円滑化モデル事業委託金」補正は、本年7月に北海道教育委員会の「幼児教育と小学校教育の接続の円滑化モデル事業」の「拠点校」として登別小学校が「指定地域」として指定されました。

この事業は、北海道教育委員会が市町村教育委員会に委託をして実施するものであることから、北海道教育委員会からの委託金60万8千円を歳入として増額補正するものです。

同じく資料の6ページ、7ページをご覧ください。こちらでは歳出として教育指導研究奨励等経費60万8千円を増額補正しています。

これら、歳入・歳出それぞれ60万8千円の補正予算について臨時代理を行いましたので、その内容を報告し承認を求めますのであります。以上です。

○**武田教育長** ただ今報告第3号について、説明がございました。ご質疑ございませんでしょうか。

(「ありません」の声あり)

○**武田教育長** それでは報告第3号については、承認をすることとしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり。)

○**武田教育長** それでは報告第3号については、承認をいたします。

次に、報告第4号「令和元年度第3回登別市議会定例会一般質問について」事務局から説明をお願いいたします。

○**近藤教育部次長** 議案書の3ページになります。教育関係では今回4人の議員から質問がありましたので、その概要を説明させていただきます。

最初に田中議員ですが小学校3・4年生の社会科副読本「のぼりべつ」について、「まちの教科書」と高く評価していただいた一方で、さらに郷土愛が高まるような取組などを掲載すべきという質問がありました。

引き続き小学校からの地域学習を通して、知識に偏ることなく体験的に地域を理解し、自分たちが住む登別に誇りと愛情を持ち、地域社会の一員としての自覚を持つことができるよう、児童の発達段階や授業時数の観点から内容を精査しながら、

学習の入口となる社会科副読本の内容の充実に取り組む旨の答弁をしました。

次に千田議員ですが、なかなか上がらない投票率を受けまして、小中学校では選挙についてどのような教育を行っているかとの質問がありました。

授業は学習指導要領に則って行っており、小学校では国会などの議会政治や選挙の意味について扱うこととされており、また、中学校では選挙の意義について考えさせることとなっており、それらに則して授業を進めていることを答弁しました。

また、同じく千田議員から通学路の安全について質問があり、登別市通学路安全推進協議会を設置して通学路における危険箇所対策を行うこととし、毎年各学校から報告を受け、現地確認や対策の検討、関係機関による対応の調整を行い、対策について進行管理を行うなどしていることを答弁しました。

次に成田議員ですが、先日、バレーボールVリーグのトヨタ車体クインシーズが登別で合宿を行った際に感じたことがきっかけで、飛び込みで依頼を受けた社会教育グループが窓口となって対応しましたが、中学生のバレーボール教室と紅白試合の観戦が大変好評だったこともあり、このような企画を一元的に受け入れる窓口があることで、スポーツツーリズムなどにもつながるのではないかという質問がありました。

スポーツ関連の事業であっても、その目的により窓口は変わることで、また、横断的に部署間の情報共有・連携を図りながら取り組んで行く旨の答弁をしました。

最後に若木議員ですが、学校現場での不法投棄防止活動について質問があり、不法投棄防止に特化した取組をしている学校はありませんが、副読本でゴミ処理について取り上げていることや環境家計簿に取り組んでいること、さらには全小学校でクリンクルセンターを見学していること、多くの学校で牛乳パックのリサイクルや地域清掃を行っていること等を答弁しました。

また、同じく若木議員からの質問で、廃止済み施設の除去等の考え方についてとして、小中学校のプールの除去状況について質問がありました。

平成21年度に若草小学校、平成26年度に鷺別小学校のプールをそれぞれ解体・除去したことと、他のプールについては解体時期や解体後の土地の利活用については、現時点では具体的な計画は無い旨を答弁しました。

一般質問については以上です。

- 武田教育長** 　ただ報告案第4号について、説明がございました。ご質疑ございませんでしょうか。
- 垣内委員** 　最後の若木議員の質問の中で、環境家計簿について答弁なされたことですが、子どもさんの環境家計簿は、本当に安定していて、自分たちがこれからやるべき事、そういう事を自覚してくださっていると思うのですが、なかなか大人の方の環境家計簿が難しいなど、今感じていたところです。そういう事でやはりCO2の削減だとかいろんなところに、SDGs（エスディーゼズ）に結び付いていくところもたくさんあると思いますので、是非また、私ども市民も含めて啓発に努めていきたいと思っております。
- 武田教育長** 　環境意識を高めるという事にひじょうに有効な手だと思いますが、学校としてはなかなか大変な部分もありまして、どうしても受けたものをそのまま

提出するという事にはならなくて、やはりちょっと先生が加えたり見たりという所もあるでしょうから、クリンクルセンターと協議をしまして、内容を簡易に子ども向けに変わってきてると聞いてます。それから、成果として数だけ増やしていくのではなくて、もう少し意識を違う角度から高めていくとか、そういうもう少し効率的な取り組みをしていけないかということも教育委員会の方とクリンクルと協議して進めようと思いますので、これからまた、量は少なくしかし効率よくというようところで取り組んでいければなというふうに思ってます。

○垣内委員 このような取り組みをしている所は他の学校ではあるんでしょうか。夏休みとか冬休みに特化した環境家計簿だったように記憶していますが。全国的に、あまり聞かないので、こういう所で環境問題に取り組んでいるんだなと改めて感じました。

○武田教育長 ほかにご質疑ございませんか。
(「ありません」の声あり)

○武田教育長 それでは報告第4号については、終了します。
以上で本日の議事は全て終了しましたが、その他、事務局から情報提供などありましたら説明をお願いします。

○中島教育部参与 私の方から情報提供2件ございます。まず、1件目が「登別市学校適正配置に係る今後のスケジュールについて」でございます。
資料の1ページをご覧くださいと思います。平成26年5月策定の「登別市学校適正配置基本方針」におきまして、今後は、この方針をもとに、課題の生じた地区や学校について、適正な学校規模や配置のあり方の検討を進めてまいります、とされておりましたが、策定から5年以上が経過し、児童生徒数の予想以上の減少を受けまして、方針に掲げられました学校規模・学級規模の目安であります、小学校では1学年1学級以上、中学校では1学年2学級以上、1学級の場合は20人程度以上、これらの目安を下回る状況が見られるようになっていることから、10月1日は西陵中学校、10月2日は幌別中学校におきまして、「子どもの教育の在り方に係る意見交換会」を実施することといたしました。

平成29年度は、参与と学務主幹の方で目安を下回る、あるいは下回りつつある学校区の運営協議会にお邪魔しまして、さまざまなご意見を伺ってきました。来年度、令和2年度までがちょうど第3期登別総合計画期間内の前期にあたり、それまでに学校や地域の要望等を踏まえ、保護者アンケートの実施を考えるなどの検討課題が掲げられていることから、この意見交換会で出されたご意見を教育委員会の方で整理をして、参加していただいた方々にお知らせするとともに、それらの意見を参考に新たな段階の必要性を検討していきたいと考えております。

意見交換会の流れにつきましては、はじめに私の方から、児童生徒数の現状と予想推移、適正配置基本方針、文科省の手引の説明をしたあと、この校区の小中学校に通う子どもたちにとって「望ましい教育環境」はどのようなものかという観点で、グループに分かれて意見交換をしていただく予定です。今の子どもたちがどのよう

な環境で学校生活を送っているのか、また、今後はどのような環境で学校生活を送ってほしいかという2つの大きな柱で意見を出していただければと思っております。

1件目は以上です。

続けて2件目は、資料の2ページをご覧くださいと思います。令和元年度、登別市教育フォーラムを実施したいと考えておりまして、このフォーラムは隔年実施しておりまして、2年前にも開催しているものです。2020年度、令和2年度から全面実施となります新学習指導要領では、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有しましょう。そして、それぞれの学校において、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしながら、社会との連携・協働によって、その目標の実現を図っていきましょう、という理念が掲げられています。それでは、今の子どもたちに求められる資質・能力とはどのようなものか、学校と社会はどのようにして連携・協働していけばよいのか、これらを皆さんと集まって再確認ができる場を設けたいということでございます。11月5日火曜日18時から1時間40分、各学校の運営協議会委員、PTA役員、教職員、教育委員会関係者、関心のある市民、合わせて100名程度の参加を予定しております。

はじめに、私の方から今の子どもたちに求められる資質・能力について、大まかな捉えで説明させていただいた後、学校と地域、それぞれの立場から、子どもたちの資質・能力の育成に取り組んでいる例を、2つの地区、今回は幌別中学校区と鷺別中学校区から、その後の話し合いにつながるような実践例をお話ししていただき、その後のグループ討議で、地域・保護者・学校が一体となって何ができるかというところを再確認する時間を持ちたいと考えております。それぞれのグループでこんな話があったというところも時間を見ながら出してもらって、現在、胆振教育局に依頼をしておりますが、助言者の方に締めていただければという流れにしております。昨日、各学校に案内と参加者の集約をお願いしたばかりでして、10月1日発行の教育委員会の広報紙「教育のぼりべつ」でも内容を紹介して、市民の方々にも参加を呼び掛ける予定です。なお、教育委員の皆様方にもぜひ、ご参加いただきたいと考えております。以上でございます。

○**武田教育長** それでは、今一括で説明がありましたけれども、情報提供についてご質問などございませんか。

(「ありません」の声あり)

○**武田教育長** それでは、終了いたします。

最後に、10月の教育委員会の開催日について予定したいと思いますが、次回の開催日について、事務局の方で考えがあればお知らせ願いたいと思います。

○**近藤教育部次長** 10月の教育委員会につきましては、最終週の木曜日ですと31日になりますが、いかがでしょうか。

○**武田教育長** それでは、事務局より提案のありました10月31日木曜日で皆様のご都合は如何でしょうか。

(「はい」の声あり)

○**武田教育長** それでは、10月の定例の教育委員会につきましては、10月31日木曜日16時30分から市民会館小会議室で開催することとします。詳細につきましては、後日事務局よりお知らせください。

以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。